

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人間の尊厳と自立		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の前向きに生きていく姿勢を支える介護専門職の在り方を学ぶ。</li> <li>・ 尊厳ある利用者支援を考え、虐待や迫害のない社会や人間形成を学ぶ。</li> <li>・ 何故利用者の尊厳が必要であるのか、介護職の行うべき「利用者に寄り添う支援」を専門職として実践していくためには、どのような知識を吸収すべきかについて学ぶ。</li> <li>・ グループワークを通し、自立支援や利用者の尊厳について学ぶ。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の人間としての存在意義や差別ない社会の構築について考察し、尊厳を守る考え方を養う。</li> <li>・ 介護者・利用者双方の成長・自立や、人間らしさを尊重することの重要性を学ぶ。</li> <li>・ 関連法や福祉理念を学習することを通じ、尊厳の在り方への理解を深める。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	①中央法規 人間の理解 (テキスト) ②教員作成プリント					
単位認定方法	定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度等、総合的に評価する					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、利用者の生活支援を行ってきた。 この実務経験を通じ、利用者の尊厳を守り、自立を支援することの重要性への認識を深めてきた。					

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人間の尊厳と自立			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	人間の尊厳と利用者主体						テキスト・プリント
2	4月18日	人権主体と具体化						テキスト・プリント
3	4月25日	尊厳に関する規定など						テキスト・プリント
4	5月9日	社会福祉領域での人権・福祉理念の変化1						テキスト・プリント
5	5月16日	社会福祉領域での人権・福祉理念の変化2						テキスト・プリント
6	5月23日	人権尊重と権利擁護1						テキスト・プリント
7	5月30日	人権尊重と権利擁護2						テキスト・プリント
8	6月6日	自立の概念の多様化						テキスト・プリント
9	6月13日	自立とは						テキスト・プリント
10	7月18日	介護を必要とする人の自立と自立支援1						テキスト・プリント
11	7月25日	介護を必要とする人の自立と自立支援2						テキスト・プリント
12	8月1日	尊厳の保持と自立支援の考え方1						テキスト・プリント
13	8月8日	尊厳の保持と自立支援の考え方2						テキスト・プリント
14	8月22日	定期試験						テキスト・プリント
15	8月29日	前期まとめ						

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人間関係とコミュニケーション		授業形態	講義	担当教員	星野 成美	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割、利用者やその家族との関係づくりなどを理解し、具体的なコミュニケーションの手法や知識を学ぶ。</p> <p>介護を必要とする方の理解や援助関係を構築するとともに、他職種協働におけるコミュニケーションの知識や技法などを身につける。</p>						
到達目標	<p>対人援助職としてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p> <p>チームとしてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 1</p> <p>人間の理解</p> <p>必要に応じてプリント</p>						
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上)</p> <p>出席日数、授業態度、提出物等の総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所にて、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、利用者や家族との相談援助、コミュニケーションについて講義する。</p>						

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人間関係とコミュニケーション			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月7日	オリエンテーション／人間と人間関係					テキスト・プリント	
2	4月14日	自分と他者との理解					テキスト・プリント	
3	4月21日	発達心理学からみた人間関係					テキスト・プリント	
4	4月28日	社会心理学からみた人間関係					テキスト・プリント	
5	5月12日	認知心理学からみた人間関係					テキスト・プリント	
6	5月19日	集団について					テキスト・プリント	
7	5月26日	ストレスとストレスサーについて					テキスト・プリント	
8	6月2日	コミュニケーションの基本構造①					テキスト・プリント	
9	6月9日	コミュニケーションの基本構造②					テキスト・プリント	
10	6月16日	コミュニケーションの手段1					テキスト・プリント	
11	7月21日	コミュニケーションの手段2					テキスト・プリント	
12	7月28日	対人援助の基本①					テキスト・プリント	
13	8月4日	対人援助の基本②					テキスト・プリント	
14	8月18日	前期定期試験						
15	8月25日	前期のまとめ						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会の理解 1		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護福祉士として、介護サービスを提供するにあたり、社会の仕組みと社会保障制度の基本的な考え方を学んでいく。</li> <li>・ 福祉全般の基礎的な諸制度の成り立ちや、高齢者・障害者に対する待遇の仕組みなどに関する知識の吸収を進めていく。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活と社会福祉のつながりや、社会保障制度の概略を理解する。</li> <li>・ 各制度の在り方を理解し、介護が必要な利用者の支援に繋げていけるようになる。</li> </ul>						
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央法規出版 介護福祉士養成講座2 「社会の理解」テキスト</li> </ul>						
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験 (60点以上)</li> <li>・ その他、出席日数・授業態度等を総合的に評価する。</li> </ul>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設や高齢者施設に長年勤務し、介護職として対象者の支援の為、知識と技術を身に付けてきた。</p>						

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会の理解 1			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月5日	オリエンテーション・生活の基本機能						テキスト・レジュメ
2	10月12日	ライフサイクルの変化・家族の機能の役割						テキスト・レジュメ
3	10月19日	社会・組織の機能と役割						テキスト・レジュメ
4	10月26日	地域における生活支援						テキスト・レジュメ
5	12月7日	地域福祉の発展						テキスト・レジュメ
6	12月14日	地域共生社会について						テキスト・レジュメ
7	12月21日	地域包括ケアについて						テキスト・レジュメ
8	1月4日	社会保障制度 1						テキスト・レジュメ
9	1月11日	社会保障制度 2						テキスト・レジュメ
10	1月18日	社会保障制度 3						テキスト・レジュメ
11	1月25日	社会保障制度 4						テキスト・レジュメ
12	2月1日	社会保障制度 復習1						テキスト・レジュメ
13	2月8日	定期試験						
14	2月15日	社会保障制度 復習2						テキスト・レジュメ
15	2月22日	後期まとめ						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	基礎教養			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>① 介護を学んでいくうえで、社会人としてのマナーを身に付けるために、様々な角度から学びを深めていく。</p> <p>② 介護について様々な角度から理解を深める。</p>						
到達目標	<p>① 介護職として社会人としてのマナーを身につけることが出来る。</p> <p>② 介護職として利用者理解できるようになり、客観的な記録ができるようになる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)</p> <p>② 必要に応じてプリント配布</p>						
単位認定方法	<p>① 出欠状況・グループワーク参加状況</p> <p>② 課題・レポート提出状況</p> <p>③ 確認テスト</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>高齢者施設・訪問介護事業所での経験のある教員が、利用者と接していく中で現場に必要なマナーについて教授する。</p>						

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎教養			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月13日	オリエンテーション						
2	4月20日	介護福祉士としての働き方						
3	4月27日	介護記録の必要性と目的						
4	5月11日	施設職員から介護の魅力（清瀬療護園）						
5	5月18日	施設職員から介護の魅力						
6	5月25日	利用者の気持ちに気付く						
7	6月1日	相手の立場になって考える						
8	6月8日	利用者の理解を深める						
9	6月29日	利用者の理解を深める						
10	7月6日	認知症サポーター養成講座						
11	7月13日	社会人としてのマナー						
12	7月20日	社会人としてのマナー						
13	8月3日	実習先へのお礼状の書き方						
14	8月17日	利用者の理解を深める						
15	8月31日	前期のまとめ						



# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 1		授業形態	講義	担当教員	佐々木 俊史
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>介護の成り立ち、役割や機能また倫理観についての学習を通して、自立した生活を提供できるための基本的な考え方を理解し、自立支援の重要性を学んでいく。</p> <p>また、介護福祉士の基本となる理念や生活を維持・継続する為の支援の仕組みを理解し、介護福祉の専門職としての能力と知識を養う。</p>					
到達目標	<p>基礎的理解として、理念・倫理観・介護福祉の在り方、様々な知識の吸収を狙いとし、文字通りの「介護の基本」の基本知識を理解できる。</p> <p>介護の基本の内容は幅広いため、「介護の基本 1」で基礎を固め、他の科目などで習得する知識と連動して覚えていくことにより、多角的に介護の全体像を把握できる事を目的とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本 1 必要に応じてレジェメ・資料を配布</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60 点以上) 出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70~79 点の評価点に『B』, 60~69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は介護福祉士として勤務し、様々な経験を身に付けてきた。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 1			授業形態	講義	担当教員	佐々木 俊史
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	オリエンテーション・介護福祉とは						テキスト・レジュメ
2	4月14日	介護福祉を取り巻く状況						テキスト・レジュメ
3	4月21日	介護の成り立ち・歴史1						テキスト・レジュメ
4	4月28日	介護福祉の歴史2						テキスト・レジュメ
5	5月12日	介護の概念の変遷						テキスト・レジュメ
6	5月19日	介護福祉の基本理念1						テキスト・レジュメ
7	5月26日	介護福祉の基本理念2						テキスト・レジュメ
8	6月2日	介護福祉士の活動と役割1						テキスト・レジュメ
9	6月9日	介護福祉士の活動と役割2						テキスト・レジュメ
10	6月16日	介護福祉士法について1						テキスト・レジュメ
11	7月21日	介護福祉士法について2						テキスト・レジュメ
12	7月28日	介護福祉士の活動の場と役割1						テキスト・レジュメ
13	8月4日	介護福祉士の活動の場と役割2						テキスト・レジュメ
14	8月18日	定期試験						試験問題
15	8月25日	定期試験の振り返り						テキスト・レジュメ

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 1			授業形態	講義	担当教員	佐々木 俊史
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月6日	介護福祉士を支える団体とは						テキスト・レジュメ
2	10月13日	介護福祉士の倫理 1						テキスト・レジュメ
3	10月20日	介護福祉士の倫理 2						テキスト・レジュメ
4	10月27日	日本介護福祉士会の倫理綱領 1						テキスト・レジュメ
5	12月8日	日本介護福祉士会の倫理綱領 2						テキスト・レジュメ
6	12月15日	自立支援の考え方 1						テキスト・レジュメ
7	12月22日	自立支援の考え方 2						テキスト・レジュメ
8	1月5日	ICFの考え方 1						テキスト・レジュメ
9	1月12日	ICFの考え方 2						テキスト・レジュメ
10	1月19日	自立支援とリハビリテーション						テキスト・レジュメ
11	1月26日	自立支援の捉え方（グループワーク）						テキスト・レジュメ
12	2月2日	自立支援と介護予防 1						テキスト・レジュメ
13	2月9日	後期試験						試験問題
14	2月16日	自立支援と介護予防 2						テキスト・レジュメ
15	2月16日	後期まとめ						テキスト・レジュメ

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 2		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>①利用者の生活を理解し、生活の個性に対応できるように、生活の多様性や社会との関りを理解する。</p> <p>②ICFの視点を理解し、利用者の自立に向けての介護について理解する。</p> <p>③介護保険制度を理解し、制度の中身の把握に努める。</p>						
到達目標	<p>①介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。</p> <p>②対象者となる利用者の能力を引き出し、利用者主体の生活が継続できるようにするために生活全般の支援の視点を養う。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①介護福祉士養成講座テキスト 介護の基本1・2</p> <p>②教員作成プリント</p>						
単位認定方法	<p>①定期試験 60点以上</p> <p>② 出欠席状況</p> <p>③グループワーク参加状況</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、介護の知識と技術・並びに様々な応用的なスキルを身に付けてきた。</p>						

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 2			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		1 学年	曜日	火曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	オリエンテーション						
2	10月10日	ICFについて（復習）						レジメ
3	10月17日	介護福祉の法体制①						レジメ
4	10月24日	介護福祉の法体制②						レジメ
5	11月21日	介護福祉の法体制③						レジメ
6	12月4日	介護福祉の法体制④						レジメ
7	12月11日	介護福祉の法体制⑤						レジメ
8	12月19日	介護保険制度復習①						レジメ
9	12月26日	介護保険制度復習②						レジメ
10	1月9日	介護保険制度復習③						レジメ
11	1月16日	介護保険制度復習④						レジメ
12	1月23日	定期試験対策						レジメ
13	1月30日	後期まとめ						レジメ
14	2月6日	定期試験						
15	2月13日	振り返り						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	コミュニケーション技術 1	授業形態	演習	担当教員	佐々木俊史
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30 時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>コミュニケーションについての基本、具体的な技法を学びながら、対人援助職という観点からコミュニケーションを考えていく。</p> <p>介護を必要とする方の理解や、支援を行う専門職としてのコミュニケーションの知識や手法を理解し、対象者家族・多職種とのコミュニケーションの在り方を学んでいく。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、コミュニケーションの意義、目的、知識などを理解する。</li> <li>2、対象者に応じたコミュニケーションの違いが理解できる。</li> <li>3、他職種でのチームコミュニケーションの意味と、そこでの記録や報告等が理解できる。</li> </ol>				
使用テキスト 参考文献 教材	<ol style="list-style-type: none"> <li>①最新介護福祉士養成講座5「コミュニケーション技術」 (中央法規)</li> <li>②必要に応じてレジュメ・資料を配布</li> </ol>				
単位認定方法	<p>定期試験 (60 点以上)</p> <p>出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70~79 点の評価点に『B』, 60~69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>				
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として入所施設、デイサービス等で勤務し、介護職として様々な利用者とのコミュニケーションを身に付けてきた教員が担当する。</p>				

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		コミュニケーション技術 1			授業形態	演習	担当教員	佐々木俊史
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月11日	オリエンテーション 授業の説明						テキスト・プリント
2	4月18日	介護におけるコミュニケーションの意義と目的						テキスト・プリント
3	4月25日	コミュニケーションの基本 1						テキスト・プリント
4	5月9日	コミュニケーションの基本 2						テキスト・プリント
5	5月16日	コミュニケーションの基本技術 1						テキスト・プリント
6	5月23日	コミュニケーションの基本技術 2						テキスト・プリント
7	5月30日	コミュニケーションの基本技術 3						テキスト・プリント
8	6月6日	コミュニケーション態度に関する基本技術②						テキスト・プリント
9	6月13日	言語コミュニケーション						テキスト・プリント
10	7月18日	言語以外のコミュニケーション						テキスト・プリント
11	7月25日	目的別のコミュニケーション技術						テキスト・プリント
12	8月1日	集団におけるコミュニケーション技術						テキスト・プリント
13	8月8日	前期まとめ						テキスト・プリント
14	8月22日	前期試験						試験課題
15	8月29日	振り返り						テキスト

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生活支援技術Ⅰ		授業形態	演習	担当教員	佐々木俊史
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>① 介護を必要としている利用者がその人らしく生活するためには、介護者としてどのような家事支援をすることが良いのか考えることが出来るように学習する。</p> <p>②利用者の生活にとっての家事支援の必要性を理解し、利用者がどうすれば自立/自律した生活が送れるのか考えることが出来るようになる。</p>					
到達目標	<p>演習や事例を通して、あらゆる介護場面、生活場面において利用者にとってどのような援助が必要になるかを、色々な視点から考えられるような知識と技術を習得することを目標とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①生活支援技術 (中央法規)</p> <p>②必要に応じてレジュメ・資料を配布</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上)</p> <p>出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として入所施設・デイサービス等で勤務し、介護職として様々な経験をもった教員が担当する。</p>					



# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅰ			授業形態	演習	担当教員	佐々木俊史
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月13日	オリエンテーション 生活とは					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
2	4月20日	生活支援とは					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
3	4月27日	ライフサイクルと生活の豊かさ					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
4	5月11日	住まいの役割と機能					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
5	5月18日	生活空間					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
6	5月25日	快適な室内環境					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
7	6月1日	安全に暮らすための生活環境					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
8	6月8日	居住環境の整備における多職種との連携					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
9	6月15日	自立した移動とは					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
10	7月20日	褥瘡の予防について					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
11	7月27日	車いすの基本構造について					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
12	8月3日	福祉用具について					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
13	8月17日	福祉用具について					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
14	8月24日	前期試験試験					試験課題	
15	8月31日	まとめ					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅰ			授業形態	演習	担当教員	佐々木俊史
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
16	10月5日	自立した身じたくとは						生活支援技術Ⅰ テキスト
17	10月12日	自立に向けた身支度の介護						生活支援技術Ⅰ テキスト
18	10月19日	身じたくの介護における多職種との連携						生活支援技術Ⅰ テキスト
19	10月26日	自立に向けた食事の介護						生活支援技術Ⅰ テキスト
20	12月14日	介護の基本原則にのっとった食事の介護						生活支援技術Ⅰ テキスト
21	12月21日	食事の介護における多職種との連携						生活支援技術Ⅰ テキスト
22	1月4日	自立に向けた入浴・清潔保持の介護						生活支援技術Ⅰ テキスト
23	1月11日	入浴・清潔保持の介護における多職種との連携						生活支援技術Ⅰ テキスト
24	1月18日	自立した排泄とは						生活支援技術Ⅰ テキスト
25	1月25日	排泄の介護における多職種との連携						生活支援技術Ⅰ テキスト
26	2月1日	休息・睡眠の介護						生活支援技術Ⅰ テキスト
27	2月8日	休息・睡眠の介護における多職種との連携						生活支援技術Ⅰ テキスト
28	2月15日	人生の最終段階における 介護人生の最終段階の介護における多職種との連携						生活支援技術Ⅰ テキスト
29	2月22日	定期試験						生活支援技術Ⅰ テキスト
30	2月29日	まとめ						生活支援技術Ⅰ テキスト

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生活支援技術 I		授業形態	演習	担当教員	星野 成美	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>① 介護を必要としている利用者がその人らしく生活するためには、介護者としてどのような家事支援をすることが良いのか考えることが出来るように学習する。</p> <p>②利用者の生活にとっての家事支援の必要性を理解し、利用者がどうすれば自立/自律した生活が送れるのか考えることが出来るようになる。</p>						
到達目標	<p>演習や事例を通して、あらゆる介護場面、生活場面において利用者にとってどのような援助が必要になるかを、色々な視点から考えられるような知識と技術を習得することを目標とする。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①生活支援技術 (中央法規)</p> <p>②必要に応じてレジュメを配布</p>						
単位認定方法	<p>①定期試験 60点以上</p> <p>②出欠席状況</p> <p>③グループワークへの参加状況</p> <p>④課題レポートの提出状況</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所し、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、在宅生活をサポートするにあたって必要な環境整備・家事支援について講義する。</p>						

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅰ			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月5日	家事支援について					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
2	10月12日	食品の基礎知識					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
3	10月19日	食品衛生					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
4	10月26日	高齢者の身体機能と栄養					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
5	12月14日	調理実習準備					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
6	12月21日	調理実習					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
7	1月4日	調理実習					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
8	1月11日	掃除の支援					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
9	1月18日	被服生活の基礎知識					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
10	1月25日	洗濯の支援					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
11	2月1日	洗濯の支援					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
12	2月8日	裁縫実習					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
13	2月15日	裁縫実習					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
14	2月22日	定期試験					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
15	2月29日	前期のまとめ					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生活支援技術Ⅱ		授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	90	時間・6 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>利用者の個別支援技術をもとに、利用者のニーズに合った様々な生活支援のスキルを身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の個別援助に必要な技術や知識を学ぶ。</li> <li>・様々な現状の対象者を、個別の身体状態に合わせた支援方法を学ぶ。</li> <li>・終末期の考え方と具体的な支援方法について学ぶ。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者に対して、生活支障のない知識の向上や、安全な技術の上達を目指す。</li> <li>・対象者に対して、安心して安楽でありさらに自立支援につながる生活場面でのスキルを身につける。</li> <li>・介護技術を展開する際、その支援の根拠は何かを考える力を養う。</li> <li>・個別援助の際の留意点などを、演習を通して吸収していく。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①中央法規 最新・生活支援技術Ⅰ・Ⅱ (テキスト) ②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・実技試験</li> <li>・レポート</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として高齢者施設に長年勤務し、介護職や相談員として、生活支援のための全般的な介護サービスや相談支援を提供してきた。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術 II			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月10日	座) オリエンテーション・シラバスについて						教科書・プリント
2		座) 生活支援とは (生活支援の基本的な考え方)						〃
3	4月17日	座) ボディメカニクスと介護の留意点						教科書・プリント
4		座) 体位変換と安楽な体位						〃
5	4月24日	座) 睡眠の介護						教科書・プリント
6		演習) シーツのたたみ方						〃
7	5月8日	演習) 2人ベッドメイキング						ユニホーム・靴
8		演習) 1人ベッドメイキング						〃
9	5月15日	演習) 体位変換						ユニホーム・靴
10		演習) 寝たままのベッドメイキング						〃
11	5月22日	座) 移動の意義と目的						ユニホーム・靴
12		座) 車いすの構造						〃
13	5月29日	演習) 起き上がりの介助						教科書・プリント
14		演習) ベッドから車いすへの介助						〃
15	6月5日	ベッドメイキング試験						ユニホーム・靴

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術 II			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	6月5日	ベッドメイキングテスト						ユニホーム・靴
2	6月12日	自立に向けた身支度の介助・衣類の着脱介助						ユニホーム・靴
3		演習) 着脱の介助・寝たままのパジャマ交換						〃
4	7月24日	演習) 着脱の介助・寝たままのパジャマ交換						ユニホーム・靴
5		演習) 浴衣交換						〃
6	7月31日	自立に向けた食事の介助						教科書・プリント
7		嚥下と口腔ケア						〃
8	8月7日	演習) 食事介助と口腔ケア						ユニホーム・靴・エプロン・弁当
9		演習) 食事介助						〃
10	8月8日	自立に向けた整容の介助						教科書・プリント
11		〃						〃
12	8月21日	前期試験						
13		〃						
14	8月28日	演習) 入浴介助						入浴の準備
15		〃						〃

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術 II			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	自立に向けた清潔の保持の介助						教科書・プリント
2	10月17日	〃						〃
3	10月24日	演習) 手浴・足浴						ユニホーム・靴
4	10月31日	〃						〃
5	12月5日	自立に向けた歩行の介助						教科書・プリント
6	12月12日	演習) 座位から立位、杖歩行の介助						ユニホーム・靴
7	12月19日	自立に向けた排泄の介護						教科書・プリント
8	12月26日	演習) おむつ交換						ユニホーム・靴
9	1月16日	〃						〃
10	1月23日	演習) ポータブルトイレの介助						ユニホーム・靴
11	1月30日	人生の最終段階における介護						教科書・プリント
12	2月6日	〃						〃
13	2月13日	〃						〃
14	2月20日	前期試験						〃
15	2月27日	まとめ						



# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 1		授業形態	講義	担当教員	佐々木俊史
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い支援を考えていく上で必要となってくるニーズや生きがい作りにつなげるため、対象者のアセスメントから、介護計画の立案・介護の実施・評価等の流れを学ぶ。</li> <li>・個別支援の理解を深め、対象者のニーズを把握する意義を学ぶ。</li> <li>・介護過程の一連の流れから、支援の必要性を学ぶ。</li> </ul>					
到達目標	<p>個人のニーズを確実に把握し、アセスメントシート～計画に移行する事ができる。 把握すべき事実の内容を理解し、課題に向けての介護計画を立案できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①最新 介護福祉士養成講座9 介護過程 中央法規出版 ②必要に応じてレジェメ・資料を配布</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60 点以上) 出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』 60～69 点の評価点に『C』, 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護施設・デイサービス等に勤務し、介護職として様々な経験を身に付けてきた教員が授業する。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 1			授業形態	講義	担当教員	佐々木俊史
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月13日	オリエンテーション・介護過程の考え方					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
2	4月20日	介護過程とは1					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
3	4月27日	介護過程の必要性1					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
4	5月11日	情報収集について①					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
5	5月18日	情報収集について②					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
6	5月25日	アセスメントについて①					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
7	6月1日	アセスメントについて②					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
8	6月8日	介護目標について					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
9	6月15日	計画立案					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
10	7月20日	実施・評価					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
11	7月27日	事例検討 1					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
12	8月3日	事例検討 2					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
13	8月17日	事例検討 3					介護福祉士養成講座 9 介護過程	
14	8月24日	前期定期試験					試験課題	
15	8月31日	前期まとめ					介護福祉士養成講座 9 介護過程	

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 2		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>介護過程の応用として事例検討を通して、根拠に基づいた介護過程の展開について学ぶ。 また対象者のより良い生活を実現するための援助方法を考える力を養う。</p>					
到達目標	<p>事例検討を通して、個人のニーズを把握し、アセスメントから計画立案、実践に移行することができる。 利用者個々に把握すべき事実の内容を理解し、課題にむけての介護計画を立案できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①中央法規 最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程 ②教職員テキスト</p>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験</li> <li>・ 実技試験</li> <li>・ レポート</li> <li>・ 出席状況</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>施設勤務や通所介護の相談員の経験から、利用者の介護計画を作成し、実施してきた経験がある 教員が担当する。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月4日	介護過程の流れの確認						教科書・プリント
2	10月11日	〃 : アセスメント①						〃
3	10月18日	〃 : アセスメント②						〃
4	10月25日	〃 : アセスメント③						〃
5	12月6日	〃 : 目標の設定						〃
6	12月13日	〃 : 計画立案						〃
7	12月20日	事例検討①						〃
8	1月10日	事例検討②						〃
9	1月17日	事例検討③						〃
10	1月24日	事例検討④						〃
11	1月31日	ケアプランと介護過程						〃
12	2月7日	後期試験						〃
13	2月14日	ケアプラン①						〃
14	2月21日	ケアプラン②						〃
15	2月28日	1年間のまとめ						〃

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 1		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>① 実習施設の特徴と暮らしの場であることを理解する。</p> <p>② 実習の振り返りを行い、介護実践に必要な知識と技術の統合により、介護の科学的探究を通し実習での学びを深める。また、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。</p>					
到達目標	<p>①実習先の種別を理解した上で、それぞれの施設で学んだ知識と技術を合わせ介護実践について理解を深めることができる。</p> <p>②実習を振り返り、利用者がどのような生活を送っているのかどのような介護が提供されているのか理解することが出来る。</p> <p>③自分の課題を明確にし、次の実習への準備をすることができる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)</p> <p>② 必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>①筆記試験 (授業内)</p> <p>②出欠状況</p> <p>③課題提出状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>高齢者福祉施設・訪問介護事業所で経験のある教員が、介護実践に必要な知識と技術を統合できるような実習指導や介護に対する思考が養えるよう指導する。</p>					

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 1			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月7日	オリエンテーション/実習について						
2	4月14日	実習先の種別の確認						テキスト
3	4月21日	実習先の種別の確認						テキスト
4	4月28日	実習先の種別の確認						テキスト
5	5月12日	実習の意義と目的						テキスト
6	5月19日	実習の流れについて						テキスト
7	5月18日	実習書類作成						テキスト
8	5月25日	実習記録について						テキスト
9	6月2日	実習関係書類の書き方について						テキスト
10	6月9日	施設実習の記録について						テキスト
11	7月26日	実習先種別についての確認テスト (50分)						テキスト
12	8月3日	実習準備・実習ファイル作成						実習指導要綱 実習ファイル
13	事前指導	グループスーパービジョン (各担当ごと)						実習指導要綱 実習ファイル
14	事後指導	グループスーパービジョン (各担当ごと)						実習指導要綱 実習ファイル
15	8月31日	実習の振り返り・実習情報交換会						

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 2		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>① 実習施設の特徴と暮らしの場であることを理解する。</p> <p>② 実習の振り返りを行い、介護実践に必要な知識と技術の統合により、介護の科学的探究を通し実習での学びを深める。また、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。</p>					
到達目標	<p>①それぞれの施設で学んだ知識と技術を合わせ介護実践について更に理解を深める</p> <p>②実習を振り返り、利用者がどのような生活を送っているのかどのような介護が提供されているのか理解することが出来る。</p> <p>③自分の課題を明確にし、次の実習への準備をすることができる。</p> <p>④実際に現場で、介護過程の展開をし学びを深める。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)</p> <p>② 必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>①筆記試験 (授業内)</p> <p>②出欠状況</p> <p>③課題提出状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>高齢者福祉施設・訪問介護事業所で経験のある教員が、介護実践に必要な知識と技術を統合できるような実習指導や介護に対する思考が養えるよう指導する。</p>					

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 2			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月14日	自己目標作成						
2	10月21日	記録の書き方の確認						
3	10月28日	実習に向けての準備						実習ファイル
4	10月30日	実習事前指導						実習ファイル
5	12月9日	実習の振り返り						
6	12月16日	実習報告						
7	12月23日	実習報告						
8	1月6日	次回の実習に向けての確認						
9	1月13日	次回の実習に向けての確認						
10	1月20日	次回の実習に向けての確認						
11	1月27日	記録の書き方の確認①						
12	2月3日	記録の書き方の確認②						
13	2月10日	次回の実習に向けての確認						
14	2月10日	後期試験						
15	2月17日	1年間のまとめ						



# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護実習Ⅰ		授業形態	実習	担当教員	星野・高松・高橋
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	296 時間	6 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学習とする。</li> <li>・利用者が望む生活の実現に向けて、多職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養うことができる。</li> <li>・介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材						
単位認定方法	実習評価点 (60点以上) 出勤状況・実習態度・提出物状況等総合的に評価する					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	高齢者施設・障害者施設等で、実習生へ指導した経験のある教員が、実践現場で必要な知識と技術について実習指導者と連携をとりながら指導する。					

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	発達と老化の理解 1		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>成長・発達の過程を理解し、老年期における発達課題や老化に伴うところとからだの変化による高齢者の日常生活を理解する。</p> <p>高齢者に多い症状や疾患の特徴を理解する。</p> <p>人間の成長と発達の基礎的理解、人間の発達段階と発達課題、老年期の特徴と発達課題 老化に伴うところとからだの変化と生活、高齢者の健康、保健医療職との連携方法</p>					
到達目標	<p>発達に関する理論などを知ることができる。</p> <p>高齢者に多い疾患の病態や症状を多職種に説明でき、介護専門職として協働できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>レジュメ</p> <p>最新 介護福祉士養成講座 1 2</p> <p>「発達と老化の理解」</p>					
単位認定方法	<p>定期試験：マークシート方式</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。</p> <p>さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>					

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		発達と老化の理解 1			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月13日	オリエンテーション 人間の成長と発達の基礎的理解、人間の発達段階と発達課題						テキスト
2	4月20日	老年期の特徴と発達課題、老化に伴うこころとからだの変化と生活						テキスト
3	4月27日	高齢者の健康 疾患に伴う基本的な症状（免疫、炎症、浮腫）						テキスト レジュメ
4	5月11日	皮膚疾患（褥瘡、疥癬、白癬、老人性皮膚掻痒症）						テキスト レジュメ
5	5月18日	内分泌代謝疾患（糖尿病、脂質異常症、痛風）						テキスト レジュメ
6	5月25日	脳神経疾患（脳血管疾患：脳出血）						テキスト レジュメ
7	6月1日	脳神経疾患（脳血管疾患：ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症）						テキスト レジュメ
8	6月8日	脳神経疾患（脳血管疾患：くも膜下出血）						テキスト レジュメ
9	6月15日	消化器系疾患（消化液について）						テキスト レジュメ
10	7月20日	消化器系疾患（胃潰瘍、十二指腸潰瘍）						テキスト レジュメ
11	7月27日	消化器系疾患（逆流性食道炎、感染性胃腸炎、胆嚢炎・胆管炎）						テキスト レジュメ
12	8月3日	消化器系疾患（感染性胃腸炎、胆嚢炎・胆管炎、（腸閉塞）						テキスト レジュメ
13	8月17日	消化器系疾患（肝硬変）						テキスト レジュメ
14	8月24日	定期試験						テキスト レジュメ
15	未定	腎・泌尿器疾患（慢性腎不全：糖尿病性腎臓病→慢性糸球体腎炎→腎硬化症→嚢胞腎）						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	発達と老化の理解 2		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>成長・発達の過程を理解し、老年期における発達課題や老化に伴うところとからだの変化による高齢者の日常生活を理解する。</p> <p>高齢者に多い症状や疾患の特徴を理解する。</p> <p>人間の成長と発達の基礎的理解、人間の発達段階と発達課題、老年期の特徴と発達課題 老化に伴うところとからだの変化と生活、高齢者の健康、保健医療職との連携方法</p>					
到達目標	<p>高齢者に多い疾患の病態や症状を多職種に説明でき、介護専門職として協働できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>レジュメ 最新 介護福祉士養成講座 1 2 「発達と老化の理解」</p>					
単位認定方法	<p>定期試験：マークシート方式</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。 さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>					

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		発達と老化の理解 2			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	腎・泌尿器疾患（腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺肥大症、尿路結石）						テキスト レジュメ
2	10月12日	循環器疾患（高血圧、心筋梗塞・狭心症、閉塞性動脈硬化症）						テキスト レジュメ
3	10月19日	循環器疾患（心不全：肺水腫、心臓喘息、肝肥大、腹水、浮腫）						テキスト レジュメ
4	10月26日	循環器疾患（不整脈）						テキスト レジュメ
5	12月7日	呼吸器疾患（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患）						テキスト レジュメ
6	12月14日	呼吸器疾患（肺炎、結核）						テキスト レジュメ
7	12月21日	骨格系・筋系疾患（骨粗鬆症、骨折、変形性関節症、変形性脊椎症）						テキスト レジュメ
8	1月4日	骨格系・筋系疾患（変形性関節症、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症）						テキスト レジュメ
9	1月11日	感覚器疾患（眼科：白内障、緑内障、加齢黄斑変性。聴覚：老人性難聴。歯科：虫歯、歯周病、ドライマウス）						テキスト レジュメ
10	1月18日	環境障害（熱中症、低体温症）						テキスト レジュメ
11	1月25日	悪性新生物（胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん）						テキスト レジュメ
12	2月1日	保健医療職との連携						テキスト レジュメ
13	2月8日	まとめ						テキスト レジュメ
14	2月15日	定期試験						
15	2月22日	解答解説						定期試験問題

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	認知症の理解 1		授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>認知症の原因疾患と、それに元凶板支援方法について学ぶ。医学面・心理面から認知症の人を理解し、基本的な生活支援方法について学習する。</p> <p>認知症のある人が、その人らしく生きていくための支援方法について、その知識と技術を習得する。さらに多職種連携について学習する。</p>					
到達目標	<p>認知症とは何かを理解し、個別的ケアを提供するための知識や技術を習得する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新介護福祉士養成講座 13 「認知症の理解」 (中央法規)</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、グループワーク・レポート提出 授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		認知症の理解 1			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	オリエンテーション/認知症とは						テキスト
2	10月10日	認知症ケアと歴史						テキスト
3	10月17日	認知症ケアの理念と視点						テキスト
4	10月24日	脳の仕組み						テキスト
5	10月31日	脳の仕組み						テキスト
6	11月7日	認知症の人の中核症状・周辺症状						テキスト
7	11月21日	認知症の原因疾患						テキスト
8	11月28日	認知症の診断と治療/認知症の予防						テキスト
9	12月5日	認知症の人の心理理解						テキスト
10	12月12日	復習テスト						テキスト・試験課題
11	12月19日	後期試験						試験課題
12	1月9日	試験問題の解説・振り返り						テキスト
13	1月16日	認知機能の変化が生活に及ぼす影響						テキスト
14	1月30日	若年性認知症の人の生活理解と支援						テキスト
15	2月7日	後期授業の振り返りとまとめ						テキスト

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	障害の理解 1		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p>						
到達目標	<p>様々な障害があることを知り、平等に対応できる考えを習得することができる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新 介護福祉士養成講座 1 4 「障害の理解」</p>						
単位認定方法	<p>定期試験：マークシート方式</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>						



# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		障害の理解 1			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月13日	オリエンテーション 障害の概念						テキスト
2	4月20日	(健康診断)						テキスト
3	4月27日	障害者福祉の基本的理念						テキスト
4	5月11日	障害者福祉に関連する制度 障害のある人の心理						テキスト
5	5月18日	視覚障害						テキスト
6	5月25日	聴覚障害						テキスト
7	6月1日	聴覚・言語障害、重複障害						テキスト
8	6月8日	肢体不自由（麻痺・拘縮）						テキスト
9	6月15日	肢体不自由（脳性麻痺）						テキスト
10	7月20日	脊髄損傷						テキスト
11	7月27日	知的障害、精神障害						テキスト
12	8月3日	発達障害、高次脳機能障害						テキスト
13	8月17日	振り返り						テキスト
14	8月24日	定期試験						テキスト
15	未定	重症心身障害						テキスト

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	障害の理解 2		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p>					
到達目標	<p>様々な障害があることを知り、平等に対応できる考えを習得することができる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新介護福祉士養成講座 1 4 「障害の理解」</p>					
単位認定方法	<p>定期試験：マークシート方式</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>					

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		障害の理解 2			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	難病（筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病）						テキスト
2	10月12日	難病（悪性関節リウマチ、筋ジストロフィー）						テキスト
3	10月19日	ヒト免疫不全ウイルス						テキスト 腎・泌尿器レジュメ
4	10月26日	肝機能障害						テキスト 消化器レジュメ
5	12月7日	腎機能障害						テキスト 腎・泌尿器レジュメ
6	12月14日	膀胱・直腸障害						テキスト
7	12月21日	小腸機能障害						テキスト
8	1月4日	心臓機能障害						テキスト 心臓・循環器レジュメ
9	1月11日	呼吸機能障害						テキスト 呼吸器レジュメ
10	1月18日	地域のサポート体制						テキスト
11	1月25日	チームづくり						テキスト
12	2月1日	家族の支援						テキスト
13	2月8日	振り返り						テキスト
14	2月15日	定期試験						
15	2月22日	解答解説						定期試験問題用紙

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	こころとからだのしくみ 1		授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>・ 介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理や機能を理解する学習とする。</p> <p>・ 介護サービスを実際に提供する際に必要な観察力、判断力の根拠となる人間のこころのしくみとからだのしくみの基礎を学ぶ。</p>					
到達目標	<p>①介護実践に必要な観察力、判断力の基礎となる人間の心理について理解できる。</p> <p>②生活支援を行う際に必要な基礎的な知識として、生活支援の場面に応じた、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解できる</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>・ 最新 介護福祉士養成講座 ⑪ 中央法規</p> <p>・ 必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>・ 定期試験 (60点以上)</p> <p>・ 出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>					

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ1			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月10日	ガイダンス					テキスト・配布資料	
2	4月17日	健康の概念（健康寿命・ホメオスタシス）					テキスト・配布資料	
3	4月24日	マズローの欲求					テキスト・配布資料	
4	5月8日	自己実現と尊厳・発達段階					テキスト・配布資料	
5	5月15日	小テスト					テキスト・配布資料	
6	5月22日	脳のしくみ					テキスト・配布資料	
7	5月29日	学習・記憶					テキスト・配布資料	
8	6月5日	動機付け、適応規制・防衛機制					テキスト・配布資料	
9	6月5日	動機付け、適応規制・防衛機制					テキスト・配布資料	
10	6月12日	適応規制・防衛機制					テキスト・配布資料	
11	6月12日	適応規制・防衛機制					テキスト・配布資料	
12	7月24日	高齢者の人格分類					テキスト・配布資料	
13	7月31日	小テスト					テキスト・配布資料	
14	8月7日	こころのしくみ総復習					テキスト・配布資料	
15	8月21日	前期試験					試験問題	

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	こころとからだのしくみ2	授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60 時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習内容	<p>①介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する学習とする。</p> <p>②こころとからだのしくみ1の知識を基に、利用者者の身支度や食事、排泄などの生活を支える介護実践との関係を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>①介護実践に必要な観察力、判断力の基礎となる人間の心理、人体構造と機能の基礎的な知識を理解できる。</p> <p>②生活支援を行う際に必要な基礎的な知識として、生活支援の場面に応じた、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解できる。</p>				
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最新 介護福祉士養成講座 ① 中央法規</li> <li>・ 必要に応じてプリント</li> </ul>				
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験 (60点以上)</li> <li>・ 出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</li> </ul>				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>				
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>				

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ2			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月11日	シラバス説明・細胞と遺伝子のしくみ						テキスト・配布資料
2	4月18日	身体各部の名称						テキスト・配布資料
3	4月25日	骨・関節のしくみ						テキスト・配布資料
4	5月9日	筋肉のしくみ						テキスト・配布資料
5	5月16日	内臓のしくみ						テキスト・配布資料
6	5月23日	脳・神経のしくみ						テキスト・配布資料
7	5月30日	交感神経・副交感神経						テキスト・配布資料
8	6月6日	呼吸器のしくみ						テキスト・配布資料
9	6月20日	循環器のしくみ						テキスト・配布資料
10	7月18日	呼吸器・循環器のしくみ						テキスト・配布資料
11	7月25日	消化器のしくみ						テキスト・配布資料
12	8月1日	内分泌のしくみ						テキスト・配布資料
13	8月8日	血液・体液・リンパのしくみ						テキスト・配布資料
14	8月22日	前期試験						試験問題
15	8月29日	前期試験の解説・介護職に必要な薬の知識						テキスト・配布資料

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ2			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月3日	移動のしくみ					テキスト・配布資料	
2	10月10日	心身に機能低下が移動に及ぼす影響 皮膚のしくみ					テキスト・配布資料	
3	10月17日	身支度 顔面のしくみ					テキスト・配布資料	
4	10月24日	身支度 目のしくみ					テキスト・配布資料	
5	10月31日	身支度 耳のしくみ					テキスト・配布資料	
6	11月7日	身支度 口・爪・髪の毛のしくみ					テキスト・配布資料	
7	11月21日	食事のしくみ 人体の構造・しくみ全般					テキスト・配布資料	
8	11月28日	食事のしくみ 治療食・低栄養について					テキスト・配布資料	
9	12月5日	入浴・清潔 人体のメカニズムについて					テキスト・配布資料	
10	12月12日	入浴・清潔について 変化の気づき					テキスト・配布資料	
11	12月19日	排泄のしくみ 排尿について					テキスト・配布資料	
12	1月9日	排泄のしくみ 排尿について					テキスト・配布資料	
13	1月16日	障害とケアの観察について					テキスト・配布資料	
14	1月30日	変化の気づきと対応・緊急時の対応					テキスト・配布資料	
15	2月6日	定期試験						



# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医療的ケア 1		授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>①医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する学習とする。</p> <p>②医療的ケアの実施に関する制度の概要及び医療的ケアと関連付けた「個人の尊厳と自立」、 「医療的ケアの倫理上の留意点」、「医療的ケアを実施する為の感染予防」、「安全管理体制」 等についての基礎的知識を理解できるようにする。</p>					
到達目標	<p>① 喀痰吸引・経管栄養について根拠に基づく手技が実施できるよう、基礎的知識、 実施手順方法を理解できるようにする。</p> <p>② 必要物品の準備が出来、安全・確実に行えるように知識・技術を身に付けることが できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新 介護福祉士養成講座 「医療的ケア」 中央法規</p> <p>改定 介護職員等による 喀痰吸引・経管栄養研修テキスト</p>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験 (60点以上)</li> <li>・ 出欠席状況、授業態度を総合的に評価する。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア 1			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月2日	清潔保持と感染予防					テキスト・配布資料	
2		清潔保持と感染予防					テキスト・配布資料	
3	10月16日	①呼吸のしくみと働き ②痰吸引に伴うケア・痰を出しやすくする体位					テキスト・配布資料	
4		①呼吸のしくみと働き ②痰吸引に伴うケア・痰を出しやすくする体位					テキスト・配布資料	
5	10月30日	喀痰吸引で使用する器具・機材とそのしくみ 清潔の保持について					テキスト・配布資料	
6		喀痰吸引で使用する器具・機材とそのしくみ 清潔の保持について					テキスト・配布資料	
7	11月13日	喀痰吸引により生じる危険や事後の安全確認 喀痰吸引の手技について					テキスト・配布資料	
8		喀痰吸引により生じる危険や事後の安全確認 喀痰吸引の手技について					テキスト・配布資料	
9	12月4日	経管栄養の目的、準備方法、留意点					テキスト・配布資料	
10		経管栄養の目的、準備方法、留意点					テキスト・配布資料	
11	12月11日	吸引の技術と留意点（吸引前と吸引後） 吸引を行う利用者の状態観察					テキスト・配布資料	
12		吸引の技術と留意点（吸引前と吸引後） 吸引を行う利用者の状態観察					テキスト・配布資料	
13	12月18日	後期試験					試験課題	
14		後期試験					試験課題	
15	12月25日	試験の解説・振り返り					テキスト・配布資料	

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア 1			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	12月25日	試験の解説・振り返り						テキスト・配布資料
2	1月15日	人工呼吸器装着利用者の説明及び吸引時の留意点						テキスト・配布資料
3		人工呼吸器装着利用者の説明及び吸引時の留意点						テキスト・配布資料
4	1月29日	急変状態について理解できる ①急変時の対応と事前準備を説明できる ②急変時の報告について説明できる						テキスト・配布資料
5		急変状態について理解できる ①急変時の対応と事前準備を説明できる ②急変時の報告について説明できる						テキスト・配布資料
6	2月5日	救急蘇生法						テキスト・配布資料
7		救急蘇生法						テキスト・配布資料
8	2月5日	医療的ケアの実施前後の観察とその報告方法について						試験問題
9		医療的ケアの実施前後の観察とその報告方法について						試験問題
10	2月12日	喀痰吸引時における状態変化に対する対応						テキスト・配布資料
11		喀痰吸引時における状態変化に対する対応						テキスト・配布資料
12	2月19日	経管栄養の前後における状、態変化に対する対応						テキスト・配布資料
13		経管栄養の前後における状、態変化に対する対応						テキスト・配布資料
14	2月26日	総まとめ						テキスト・配布資料
15		総まとめ						テキスト・配布資料

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人間関係とコミュニケーション		授業形態	講義	担当教員	星野 成美	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>1年生での学びの振り返り、再度人の心の動き（心理学）を色々な角度から学び、そこから人間関係をどのように形成していくことが必要なのかを再確認する。</p> <p>介護を必要とする方の理解や援助関係を構築するとともに、他職種協働におけるコミュニケーションの知識や技法などを身につける。</p>						
到達目標	<p>対人援助職としてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p> <p>チームとしてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 1 人間の理解 必要に応じてプリント</p>						
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度、提出物等の総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所にて、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、利用者や家族との相談援助、コミュニケーションについて講義する。</p>						

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人間関係とコミュニケーション			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月8日	人間と人間関係					テキスト・プリント	
2	4月15日	自己覚知					テキスト・プリント	
3	4月22日	対人関係におけるコミュニケーション1					テキスト・プリント	
4	5月6日	対人関係におけるコミュニケーション2					テキスト・プリント	
5	5月13日	対人援助関係とコミュニケーション1					テキスト・プリント	
6	5月20日	対人援助関係とコミュニケーション2					テキスト・プリント	
7	5月27日	組織におけるコミュニケーション					テキスト・プリント	
8	6月3日	介護現場におけるチームマネジメント1					テキスト・プリント	
9	6月10日	介護実践におけるチームマネジメント2					テキスト・プリント	
10	6月17日	支援を展開するためのチームマネジメント1					テキスト・プリント	
11	7月22日	支援を展開するためのチームマネジメント2					テキスト・プリント	
12	7月29日	組織におけるチームマネジメント1					テキスト・プリント	
13	8月5日	組織におけるチームマネジメント2					テキスト・プリント	
14	8月22日	前期定期試験						
15	8月29日	前期のまとめ						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会の理解 2		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>前年度に引き続き「社会の理解」第4章、5章、6章について学び、知識を広げる。</p> <p>授業の中で、介護保険制度に関連する社会状況、制度を理解する。</p> <p>また、社会の法制度を学ぶことによって、高齢者・障害者施策の在り方、支援の方向性を考えられる力を身に付け、自身が実務を行う際に、自信を持って業務を行える様になる事が目的である。</p>					
到達目標	<p>介護保険制度の関する社会状況、制度を理解する。</p> <p>また、障害者保健福祉・介護実践の観点で対象者を支援する制度や動向の進展を学び、考え、社会情勢と関連する知識を深めていく。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 2 「社会の理解」中央法規</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度、グループワーク等</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、対象者対応や介護の知識を身に付けてきた。</p>					

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会の理解 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	オリエンテーション・高齢者保健福祉の動向						テキスト・レジュメ
2	10月17日	高齢者保健福祉に関連する法体系 1						テキスト・レジュメ
3	10月24日	高齢者保健福祉に関連する法体系 2						テキスト・レジュメ
4	10月31日	介護保険制度 1						テキスト・レジュメ
5	11月7日	介護保険制度 2						テキスト・レジュメ
6	11月21日	介護保険制度 3						テキスト・レジュメ
7	11月28日	障害者保健福祉の動向						テキスト・レジュメ
8	12月5日	障害者保健福祉に関連する法体系						テキスト・レジュメ
9	12月12日	定期試験対策						テキスト・レジュメ
10	12月19日	定期試験						テキスト・レジュメ
11	12月26日	障害者総合支援制度 1						テキスト・レジュメ
12	1月16日	障害者総合支援制度 2						テキスト・レジュメ
13	1月30日	介護実践に関連する諸制度 1						テキスト・レジュメ
14	2月3日	介護実践に関連する諸制度 2						テキスト・レジュメ
15	2月6日	後期まとめ						

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	レクリエーション支援法		授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションの歴史や意義を理解し、支援の方法や技術を習得する。</li> <li>・利用者の個々のニーズや状態に合わせ安全で楽しめるレクリエーションが展開できる。</li> <li>・季節や環境に合わせたレクリエーションを展開する。</li> <li>・レクリエーションの展開に当たり、具体的に計画を立案することができる。</li> </ul>					
到達目標	レクリエーションの必要性を理解する事が出来、具体的にレクリエーション活動を提供し、実践する事が出来る。さらに利用者の個々のニーズに合わせたレクを展開する事が出来る。					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教員テキスト</li> <li>②日本レクリエーション協会テキスト</li> <li>③教員プリント</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・実技試験</li> <li>・レポート</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	担当教員は通所介護に勤務しており、高齢者のレクリエーションに長年携わっていた。					



# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		レクリエーション支援法			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月11日	オリエンテーション/グループづくり					プリント	
2	4月18日	レクリエーションとは①					プリント	
3	4月25日	〃②					プリント	
4	5月9日	福祉と福祉活動					プリント	
5	5月16日	レクリエーションの支援のポイント					プリント	
6	5月23日	レクから考える「こころと体」					プリント	
7	5月30日	レクリエーションの計画立案					プリント	
8	6月6日	アイスブレイキング					プリント	
9	7月18日	レクリエーションの進行					プリント	
10	7月25日	リスクマネジメント					プリント	
11	8月1日	安全なレクリエーション活動					プリント	
12	8月9日	前期のまとめ					プリント	
13	8月23日	前期試験					プリント	
14	8月30日	ゲームの進行と、司会の役割					プリント	
15	8月30日	事前指導：施設訪問計画書作成①					プリント	

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		レクリエーション支援法			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	レクリエーションの企画書とは・グループ作り						プリント
2	10月10日	企画書作成①						〃
3	10月17日	〃 ②						
4	10月24日	〃 ③・練習①						
5	11月7日	練習②						
6	11月14日	練習③						
7	11月21日	練習④						ユニホーム・靴
8	11月28日	校内発表①						〃
9	12月5日	校内発表②						〃
10	12月12日	校内発表③						〃
11	12月19日	校内発表④						ノリ、ハサミ
12	1月10日	国試対策						プリント
13	1月17日	国試対策						〃
14	1月24日	国試対策						〃
15	1月31日	ケース発表						〃

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	情報処理		授業形態	講義	担当教員	重田 伸一
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会においてなくてはならないのが情報処理技術である。</li> <li>・ この授業では、特に介護現場において使用する情報処理技術を学ぶ。</li> <li>・ また、諸法律・情報セキュリティの学習は、現代社会での被害者・加害者にならないための最低限のスキルでもある。 (文書作成、表計算、プレゼンテーション技術、著作権、個人情報保護、情報セキュリティ)</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本科目で取り組む内容は、情報処理の基本中の基本である。</li> <li>・ コンピュータを道具として利用できる基本知識と技術の習得、及び介護現場に必要な最低限のスキルを身につけることを目標とする。</li> <li>・ 著作権・個人情報保護・セキュリティについて理解する</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めての著作権講座</li> <li>・ 自作のテキスト</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内試験</li> <li>・ 課題提出</li> <li>・ 筆記試験</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		情報処理			授業形態	講義	担当教員	重田 伸一
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月12日	ガイダンス アイスブレイク					筆記用具	
2	4月19日	表計算の基礎					テキスト	
3	4月26日	表計算の応用					テキスト	
4	5月10日	表計算の応用					テキスト	
5	5月17日	表計算の応用					テキスト	
6	5月24日	表計算の応用					テキスト	
7	5月31日	表計算の応用					テキスト	
8	6月7日	表計算（授業内課題試験）					テキスト	
9	7月19日	諸法律（著作権法・個人情報保護法）、情報セキュリティの基礎					テキスト	
10	7月26日	諸法律（著作権法・個人情報保護法）、情報セキュリティの基礎					テキスト	
11	8月2日	諸法律（著作権法・個人情報保護法）、情報セキュリティの基礎					テキスト	
12	8月9日	(自宅学習日)						
13	8月23日	筆記試験						
14	8月30日	筆記試験 試験返し						
15	1月24日	(自宅学習日)						

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		情報処理			授業形態	講義	担当教員	重田 伸一
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授業内容					使用物品	
1	10月4日	情報セキュリティ					テキスト	
2	10月11日	情報セキュリティ					テキスト	
3	10月18日	情報セキュリティ(筆記テスト)					テキスト	
4	10月25日	文書処理 文書入力的基础					テキスト	
5	11月1日	文書処理 文書編集					テキスト	
6	11月8日	文書処理 文書作成					テキスト	
7	11月15日	文書処理 文書作成					テキスト	
8	11月22日	文書処理 文書作成					テキスト	
9	11月29日	文書処理 文書作成					テキスト	
10	12月6日	文書処理 (授業内課題試験)					テキスト	
11	12月13日	プレゼンテーション 課題作成					テキスト	
12	12月20日	プレゼンテーション 課題作成(後期試験日だが授業)					テキスト	
13	1月10日	プレゼンテーション 課題作成					テキスト	
14	1月17日	プレゼンテーション 課題作成					テキスト	
15	1月31日	プレゼンテーション 課題提出					テキスト	

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の応用 1		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話を通して、聴覚障害についての理解を深める。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションツールの一つとして、手話を習得し聴覚障害者とコミュニケーションを図ることが出来る。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今すぐはじめる手話テキスト 聴さんと学ぼう！ 一般社団法人全日本ろうあ連盟</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出欠席状況</li> <li>・ 授業への参加態度</li> <li>・ 定期試験 (60点以上)</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、介護施設・通所介護に勤務した経験から聴覚障害者への理解を深め コミュニケーションの図り方を講義する。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の応用 1			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月12日	オリエンテーション						
2	4月19日	手話						テキスト
3	4月26日	手話						テキスト
4	5月10日	手話						テキスト
5	5月17日	レクリエーション						
6	5月24日	手話						テキスト
7	5月31日	手話ダンス						テキスト
8	6月7日	手話						テキスト
9	7月19日	手話						テキスト
10	7月26日	手話						テキスト
11	8月2日	手話						テキスト
12	8月23日	手話						テキスト
13	8月30日	手話						テキスト
14	9月7日	手話ダンス						
15	9月14日	まとめ						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の応用2		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士国家試験に向けて、基礎知識の定着及び傾向と対策について学ぶ事が出来る。</li> <li>・また国家試験だけではなく、総合的に介護福祉士としての知識の復習を行っていく。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士国家試験の領域別問題及び過去問題、予想問題等を使用しての問題演習を行い、国家試験合格ライン突破を目指す。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士国家試験予想問題 (中央法規出版その他)</li> <li>・介護福祉士国家試験過去問題 (中央法規出版その他)</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 60点以上</li> <li>・出席日数、授業態度、提出物等、総合的に判断する。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、介護の知識と技術・並びに様々な応用的なスキルを身に付けてきた。</p>					



# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の応用2			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月2日	オリエンテーション・介護福祉士国家試験についての説明					レジュメ	
2	10月16日	介護福祉の基礎知識①					レジュメ	
3	10月23日	介護福祉の基礎知識②					レジュメ	
4	10月30日	介護福祉の基礎知識③					レジュメ	
5	11月6日	介護福祉の基礎知識④					レジュメ	
6	11月13日	介護福祉士国家試験演習①					レジュメ	
7	11月20日	介護福祉士国家試験演習②					レジュメ	
8	11月27日	介護福祉士国家試験演習③					レジュメ	
9	12月4日	介護福祉士国家試験演習④					レジュメ	
10	12月11日	介護福祉士国家試験演習⑤					レジュメ	
11	12月18日	後期定期試験						
12	12月25日	科目別国家試験演習①					レジュメ	
13	1月15日	科目別国家試験演習②					レジュメ	
14	1月29日	国家試験まとめ①					レジュメ	
15	1月30日	まとめ②					レジュメ	

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 3		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>公的支援や地域連携・安全確保や事故への対応といったリスクマネジメントの視点、また、多職種協働による介護を実践し、介護福祉を支える機能や役割を学んでいく。介護を必要とする人の生活を支援するという観点から、介護福祉士の理念や自立ある生活を継続する為の支援の仕組みを理解し、介護福祉全般の知識向上を目的とする。</p>					
到達目標	<p>介護を必要とする人の理解を深め、介護福祉士としての基本的知識を学習する事で理解でき、実践での業務に対してのイメージが高められるようになる。 また、1年次で学んだ介護の基本をさらに応用し、知識の向上を高めることを目標とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本 II</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度等を総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、介護の知識と技術・並びに様々な応用的なスキルを身に付けてきた。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 3			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月13日	オリエンテーション・生活の理解1					テキスト・プリント	
2	4月20日	生活の理解2					テキスト・プリント	
3	4月27日	介護福祉を必要とする人の暮らし					テキスト・プリント	
4	5月11日	生活ニーズの理解1					テキスト・プリント	
5	5月18日	生活ニーズの理解2					テキスト・プリント	
6	5月25日	フォーマルサービス・インフォーマルサービス1					テキスト・プリント	
7	6月1日	フォーマルサービス・インフォーマルサービス2					テキスト・プリント	
8	6月8日	地域連携					テキスト・プリント	
9	7月20日	介護における安全の理解					テキスト・プリント	
10	7月27日	リスクマネジメント1					テキスト・プリント	
11	8月3日	リスクマネジメント2					テキスト・プリント	
12	8月10日	感染症対策1					テキスト・プリント	
13	8月17日	感染症対策2					テキスト・プリント	
14	8月24日	定期試験					テキスト・プリント	
15	8月31日	前期まとめ						

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 3			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	多職種連携・協働の必要性 1						テキスト・レジュメ
2	10月13日	多職種連携・協働の必要性 2						テキスト・レジュメ
3	10月20日	多職種連携・協働に求められる能力 1						テキスト・レジュメ
4	10月27日	多職種連携・協働に求められる能力 2						テキスト・レジュメ
5	11月10日	多職種の役割と機能 1						テキスト・レジュメ
6	11月17日	多職種の役割と機能 2						テキスト・レジュメ
7	11月24日	多職種連携・協働の実際						テキスト・レジュメ
8	12月1日	健康管理の意義と目的 1						テキスト・レジュメ
9	12月8日	健康管理の意義と目的 2						テキスト・レジュメ
10	12月15日	こころの健康管理の意義						テキスト・レジュメ
11	12月22日	後期定期試験						テキスト・レジュメ
12	1月5日	身体の健康管理						テキスト・レジュメ
13	1月12日	労働環境の整備 1						テキスト・レジュメ
14	1月19日	労働環境の整備 2						テキスト・レジュメ
15	1月26日	後期まとめ						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 4		授業形態	講義	担当教員	佐々木 俊史
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>① 介護職が安全に働ける環境について学ぶ。</p> <p>② 介護現場におけるリスクマネジメントの必要性を理解し、安全に安心して働いていられるように基本的な知識と技術のエビデンスに基づき学ぶ。</p>					
到達目標	<p>① 介護現場におけるリスクマネジメントの必要性を理解し、安全に安心して働けるようになる。</p> <p>② 介護職の心身の健康管理と労働環境について理解する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座 ⑥生活支援技術Ⅰ 中央法規</p> <p>② 必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上)</p> <p>出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は介護福祉士として勤務し、介護職として経験を身に付けてきた。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 4			授業形態	講義	担当教員	佐々木 俊史
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月3日	生活支援の理解①					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
2	10月10日	生活支援の理解②					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
3	10月17日	居住環境の整備①					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
4	10月24日	居住環境の整備②					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
5	10月31日	自立に向けた移動介護①					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
6	11月7日	自立に向けた移動介護②					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
7	11月14日	福祉用具の意義①					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
8	11月21日	福祉用具の意義②					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
9	11月28日	自立に向けた家事の介護①					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
10	12月5日	自立に向けた家事の介護②					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
11	12月12日	応急手当の知識と技術①					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
12	12月19日	応急手当の知識と技術②					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
13	1月9日	災害時における生活支援①					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
14	1月16日	災害時における生活支援②					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	
15	1月23日	2年間のまとめ					介護福祉士養成講座 ⑥ 生活支援技術 I	

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	コミュニケーション技術 2	授業形態	演習	担当教員	佐々木 俊史
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30 時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者および利用者家族、また職員間で行ったコミュニケーションの展開方法を学ぶ。</li> <li>・コミュニケーションの手法や展開など、事例などを通して学ぶ。</li> <li>・コミュニケーションが困難な対象者への具体的な支援の知識を学ぶ。</li> <li>・利用者や、様々な状況に応じたコミュニケーション技術を身に付けられる授業を展開することを目的とする。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを通して、利用者への理解を広げていく。</li> <li>・全ての利用者とのコミュニケーションをおこなっていくための手法を身につける。</li> <li>・コミュニケーションスキルを向上し、円滑な対人援助の形式を行っていく。</li> <li>・対象者に関わる介護者の技術と知識の向上を図る。</li> </ul>				
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①中央法規 コミュニケーション技術Ⅱ (テキスト)</p> <p>②必要に応じてレジュメ・資料を配布</p>				
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上)</p> <p>出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』</p> <p>60～69点の評価点に『C』, 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>				
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として入所施設ディサービス等で勤務し、介護職として色々な利用者を介護し経験を積んだ教員が、その経験をもとに、様々な障害を持つ利用者とのコミュニケーションについて講義する。</p>				

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		コミュニケーション技術 2			授業形態	演習	担当教員	佐々木 俊史
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月7日	介護におけるコミュニケーションの基本（振り返り）					テキスト・レジュメ	
2	4月14日	コミュニケーションの基本技術（振り返り）					テキスト・レジュメ	
3	4月21日	対象者の特性に応じたコミュニケーション 1					テキスト・レジュメ	
4	4月28日	対象者の特性に応じたコミュニケーション 2					テキスト・レジュメ	
5	5月12日	対象者の特性に応じたコミュニケーション 3					テキスト・レジュメ	
6	5月19日	家族とのコミュニケーション 1					テキスト・レジュメ	
7	5月26日	家族とのコミュニケーション 2					テキスト・レジュメ	
8	6月2日	家族とのコミュニケーション 3					テキスト・レジュメ	
9	7月14日	介護におけるチームのコミュニケーション 1					テキスト・レジュメ	
10	7月21日	介護におけるチームのコミュニケーション 2					テキスト・レジュメ	
11	7月28日	介護におけるチームのコミュニケーション 3					テキスト・レジュメ	
12	8月4日	試験対策 1					テキスト・レジュメ	
13	8月18日	定期試験					テキスト・レジュメ	
14	8月25日	前期まとめ					テキスト・レジュメ	
15	8月26日	振り返り						



# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生活支援技術Ⅲ		授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	120 時間	・ 8 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>障害に応じた病態理解と生活を支えるための基本的技術を習得する。 保健医療職の役割と協働・連携について理解する。</p> <p>主に「こころとからだのしくみ」「発達と老化の理解」「障害の理解」「生活支援技術」の復習を行いながら演習を行う。</p>					
到達目標	<p>症状・所見から病態を説明し、それに合わせた対応を行い、保健医療職に報告・連絡・相談できるスキルを養う。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>新・介護福祉士養成講座 8 「生活支援技術Ⅲ」 介護福祉士養成講座12 「発達と老化の理解」、レジュメ 介護福祉士養成講座14 「障害の理解」</p>					
単位認定方法	<p>定期試験：事例による実技試験</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	担当教員	
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室
回数	日付	授 業 内 容					使用物品
1	4月13日	オリエンテーション ベッドメイキング実技確認テスト					ベッド、リネン類
2	4月13日	オリエンテーション ベッドメイキング実技確認テスト					ベッド、リネン類
3	4月20日	起居動作介助実技確認テスト					ベッド、車いす
4	4月20日	起居動作介助実技確認テスト					ベッド、車いす
5	4月27日	着脱介助実技確認テスト					車いす、衣類
6	4月27日	着脱介助実技確認テスト					車いす、衣類
7	5月11日	排泄介助実技確認テスト					ベッド、オムツ
8	5月11日	排泄介助実技確認テスト					ベッド、オムツ
9	5月18日	事例問題					ベッド、車いすなど
10	5月18日	事例問題					ベッド、車いすなど
11	5月25日	運動機能障害に応じた介護 スライディングシート・ボード、床からの立ち上がり、プッシュアップ					ベッド、車いす、スライ ディングシート・ボード
12	5月25日	運動機能障害に応じた介護 スライディングシート・ボード、床からの立ち上がり、プッシュアップ					ベッド、車いす、スライ ディングシート・ボード
13	6月1日	視覚障害に応じた介護					白杖、アイマスク
14	6月1日	視覚障害に応じた介護					白杖、アイマスク
15	6月8日	腎・膀胱機能障害に応じた介護					オムツ、バルーンセット

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
16	6月8日	腎・膀胱機能障害に応じた介護					オムツ、バルーンセット	
17	6月15日	直腸機能障害に応じた介護 重症心身障害に応じた介護					オムツ、ストマセット、 リフト	
18	6月15日	直腸機能障害に応じた介護 重症心身障害に応じた介護					オムツ、ストマセット、 リフト	
19	7月20日	肝機能障害に応じた介護					点滴セット、衣類	
20	7月20日	肝機能障害に応じた介護					点滴セット、衣類	
21	7月27日	外傷時の対応と応急手当					三角巾	
22	7月27日	外傷時の対応と応急手当					三角巾	
23	8月3日	振り返り（事例問題）						
24	8月3日	振り返り（事例問題）						
25	8月17日	振り返り（事例問題）						
26	8月17日	振り返り（事例問題）						
27	帰校日	アドバンスケアプランニング						
28	帰校日	アドバンスケアプランニング						
29	8月24日	定期試験						
30	8月24日	定期試験						

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月5日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
2	10月5日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
3	10月12日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
4	10月12日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
5	10月19日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
6	10月19日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
7	10月26日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
8	10月26日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
9	11月2日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
10	11月2日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
11	11月16日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
12	11月16日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
13	11月30日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
14	11月30日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書
15	12月7日	国家試験対策						テキスト 資料、参考書

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
16	12月7日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
17	12月14日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
18	12月14日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
19	12月21日	定期試験						
20	12月21日	定期試験						
21	1月4日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
22	1月4日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
23	1月11日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
24	1月11日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
25	1月18日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
26	1月18日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
27	1月25日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
28	1月25日	国家試験対策						テキスト、 資料、参考書
29	2月1日	お金の付き合い方セミナー（未定）						
30	2月1日	お金の付き合い方セミナー（未定）						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 3		授業形態	講義	担当教員	星野 成美	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>①授業や実習で学んだ知識と技術を統合し、利用者を主体とする生活支援活動の展開方法を学ぶ。 また、他職種との連携における介護福祉士の役割を理解する。</p> <p>②利用者本人が望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を 伴う課題解決の思考過程を習得する。</p>						
到達目標	<p>①介護過程について、知識や技術をもとに、理論的に介護過程を展開できるようになる。</p> <p>②ケアプランと他の専門職が作成するのケア計画と個別援助計画との連動性や チームアプローチについて理解することができる。</p> <p>③実習Ⅱで展開した介護過程を振り返り、文章へまとめ学習発表会に参加する。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①介護福祉士養成講座 9 介護過程 (中央法規)</p> <p>②必要に応じてプリント</p>						
単位認定方法	<p>①定期試験 60点以上</p> <p>② 出欠席状況</p> <p>③課題・グループワーク参加状況</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、高齢者施設で経験しその後訪問介護事業所で管理者の経験のある教員が 利用者の生活・身体状況に応じた介護過程の展開について、演習を交えて講義する。</p>						

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 3			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月10日	オリエンテーション/ 復習					テキスト	
2	4月17日	実習前介護過程の復習①					テキスト	
3	4月24日	介護過程の復習②					テキスト	
4	5月8日	介護過程の復習③					テキスト	
5	5月15日	実習Ⅱに向けての介護過程の復習					テキスト	
6	5月22日	実習Ⅱに向けての介護過程の復習					テキスト	
7	5月29日	実習Ⅱに向けての介護過程の復習					テキスト	
8	6月5日	実習Ⅱに向けての介護過程の復習					テキスト	
9	6月12日	実習準備					テキスト	
10	7月17日	実習Ⅱの振り返り①					テキスト	
11	7月24日	実習Ⅱの振り返り②					テキスト	
12	7月31日	実習Ⅱの振り返り③					テキスト	
13	8月7日	試験前試験					テキスト	
14	8月21日	前期定期試験						
15	8月29日	前期のまとめ						

## 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 3			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	オリエンテーション						
2	10月17日	実習Ⅱで展開した介護過程の見直し						
3	10月24日	実習Ⅱで展開した介護過程の見直し						
4	10月31日	国家試験対策						
5	11月7日	国家試験対策						
6	11月14日	国家試験対策						
7	11月21日	国家試験対策						
8	11月28日	国家試験対策						
9	12月5日	実習報告会の発表の仕方						
10	12月12日	国家試験対策						
11	12月19日	後期試験						
12	12月26日	国家試験対策						
13	1月16日	国家試験対策						
14	1月23日	国家試験対策						
15	1月30日	2年間のまとめ						



# 2023 年度 介護福祉学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 4		授業形態	講義	担当教員	星野 成美	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	対象者のニーズを把握し、介護計画作成のためのアセスメントと、他科目で学んだ専門職の視点で、介護計画の立案および転換ができる思考過程を身につける。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々のニーズを的確に把握し、計画的に介護を実践・評価する事ができる。</li> <li>・ 把握すべき事実の内容を理解し、課題達成のための実践の内容を計画できる。</li> </ul>						
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>①中央法規 最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程</li> <li>②教職員テキスト</li> </ul>						
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>①出席状況</li> <li>②ケーススタディ作成状況</li> <li>③ケーススタディ発表状況</li> </ul>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	介護福祉士として、高齢者施設、訪問介護事業所での経験のある教員が、介護計画の実践を振り返り、2年間の集大成であるケーススタディ作成を指導する。						

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 4			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	後期	使用教室	基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月4日	介護過程流れの確認①						
2	10月11日	ケーススタディとは						
3	10月18日	ケーススタディ①						
4	10月25日	" ②						
5	11月2日	" ③						
6	11月9日	" ④						
7	11月16日	" ⑤						
8	11月23日	" ⑥						
9	11月30日	まとめ						
10	12月7日	後期試験						
11	12月14日	国家試験対策						
12	12月21日	国家試験対策						
13	1月4日	国家試験対策						
14	1月11日	国家試験対策						
15	1月18日	国家試験対策						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 3		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護実践に必要な知識と技術の統合を行なうとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。</li> <li>・ 各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習での学びを深め介護の専門職としての考えや態度の形成、実践力を養う総合的な学習とする。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践につながるようになる。</li> <li>・ 実習の振り返り、介護の知識や技術を実践と結び付けるとともに、さらに深めることが出来る</li> <li>・ 質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる介護実践について理解できる</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>①介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)</li> <li>②必要に応じてプリント</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>①書類の提出状況</li> <li>② 出欠席状況</li> <li>③グループワーク参加状況</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、高齢者施設で経験しその後訪問介護事業所で管理者の経験のある教員が 校外実習に向けての心構え等や書類作成を行なっていく。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習3			授業形態	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室
回数	日付	授 業 内 容					使用物品
1	4月7日	オリエンテーション					
2	4月14日	実習の書類作成					
3	4月21日	実習に向けての準備					
4	4月28日	自己目標と施設の概要					
5	5月12日	実習に向けての準備					
6	5月19日	次回の実習に向けての準備					
7	5月26日	次回の実習に向けての準備					
8	6月2日	次回の実習に向けての準備					
9	6月9日	実習書類作成					
10	6月9日	実習Ⅱ 事前指導					
11	7月18日	実習Ⅱ 事後指導					
12	7月21日	訪問介護実習に向けての準備					
13	7月28日	訪問介護実習に向けての準備					
14	8月4日	訪問介護実習に向けての準備					
15	8月25日	訪問介護実習に向けての準備					

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 4		授業形態	演習	担当教員	高松 浩之
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までの実習を振り返りながら更なる知識の向上と演習を行う上での介護職の職務のあり方を意識する。</li> <li>・ 介護福祉士に求められる知識、技術、価値、倫理などを総合的に学習し、「介護とは何か」を考え、自身の介護観を確立する。</li> <li>・ 更に他の科目と連動し、国家資格の習得に向けての学習に力を注いでいく。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の介護職員として、利用者を把握しどのような支援を提供できるか、自らの介護職としての考えを伝え、報告する事ができる。</li> <li>・ 介護福祉士としての知識、技術、価値、倫理などを総合的に学び、実践できる。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護福祉士養成講座 10 (介護総合演習・介護実習)</li> <li>・ オリジナルレジュメ</li> </ul>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上)</p> <p>出席日数、授業態度、グループワークなどを総合的に評価</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、対象者対応や介護の知識を身に付けてきた。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 4			授業形態	演習	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月2日	オリエンテーション・実習を振り返って						テキスト・レジメ
2	10月16日	実習先としての施設の特徴①						テキスト・レジメ
3	10月23日	実習先としての施設の特徴②						テキスト・レジメ
4	10月30日	他職種の取り組み・地域との連携①						テキスト・レジメ
5	11月6日	他職種の取り組み・地域との連携②						テキスト・レジメ
6	11月13日	国家試験対策（問題演習）①						レジメ
7	11月20日	国家試験対策（問題演習）②						レジメ
8	11月27日	国家試験対策（問題演習）③						レジメ
9	12月4日	国家試験対策（問題演習）④						レジメ
10	12月11日	国家試験対策（問題演習）⑤						レジメ
11	12月18日	国家試験対策（問題演習）⑥						レジメ
12	12月25日	国家試験対策（問題演習）⑦						レジメ
13	1月15日	国家試験対策（問題演習）⑧						レジメ
14	1月29日	まとめ						レジメ
15	2月5日	試験対策						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護実習Ⅱ		授業形態	実習	担当教員	星野・高松・高橋
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	192 時間	・ 4 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>①本人の望む生活の実現に向けて、多職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。</p> <p>②介護過程の展開を通して対象者を理解し、本人主体の生活と自立を支援する為の介護過程を実践的に学ぶ。</p> <p>③多職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解するとともに、サービス担当者会議やケースカンファレンス等を通じて、多職種連携やチームケアを体験的に学ぶ。</p>					
到達目標	<p>①対象となる人の能力を引き出し、利用者主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開できる能力を養う。</p> <p>②介護実践における安全を管理するための基礎的な知識・技術を習得する。</p> <p>③各領域で学んだ知識と技術を十合氏、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材						
単位認定方法	<p>実習評価点 (60点以上)</p> <p>出勤状況・実習態度・提出物状況等総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>高齢者施設・障害者施設等で、実習生へ指導した経験のある教員が、実践現場に必要な知識と技術について実習指導者と連携をとりながら指導する。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	認知症の理解 2		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>認知症の人の個別性に合わせた具体的な支援方法や、家族支援のあり方について考える。 講義・演習・グループワークを通じて、認知症の人の生活支援を考える。</p> <p>認知症のステージに応じた支援や、その生活する場の違いを把握し、介護職としての 関わり方について学ぶ。</p>						
到達目標	<p>介護福祉士として認知症の人との関わり方を学び、人間の尊厳と自立に向けた取り組みが できる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新介護福祉士養成講座 13 「認知症の理解」 (中央法規)</p>						
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、グループワーク・レポート提出 授業態度等、総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、介護施設で介護職員として勤務し認知症の利用者への長年の介護 経験から、認知症の疾患と必要なケアについて講義する。</p>						



# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		認知症の理解 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月12日	シラバス説明・認知症の薬と予防					教科書・プリント	
2	4月19日	認知症を取り巻く状況					〃	
3	4月26日	認知症ケアの理念と視点①					〃	
4	5月10日	〃 ②					〃	
5	5月17日	認知症の当事者から見えるもの					〃	
6	5月24日	認知症ケアの実際					〃	
7	5月31日	アセスメントツール①					〃	
8	6月7日	〃 ②					〃	
9	7月19日	認知症の人とのコミュニケーション					〃	
10	7月26日	認知症の人への様々なアプローチ					〃	
11	8月2日	環境づくり					〃	
12	8月2日	家族支援					〃	
13	8月23日	前期試験					〃	
14	8月30日	ケアの実際					〃	
15	9月6日	認知症の人の終末期医療と介護					〃	

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	こころとからだのしくみ 3		授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の構造と機能・こころのしくみを知り、加齢によるさまざまな疾患でどのような生活障害は生じるかを理解するとともに、生活障害のメカニズムを知ることにより、高齢者の生活の介護実践との関連性を理解する。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスを提供する上で「こころとからだのしくみ」が基本であることを理解するとともに、安全確保の重要性を理解できる。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新 介護福祉士養成講座 「こころとからだのしくみ」 中央法規</li> <li>・必要に応じてプリント</li> </ul>					
単位認定方法	定期試験 (60点以上) 出欠席状況・授業態度等総合的に評価する					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 こころとからだのしくみの講義を行っていく。					

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ3			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月3日	休息・睡眠のしくみ					テキスト・参考資料	
2	10月10日	心身の機能低下が休息・睡眠に与える影響					テキスト・参考資料	
3	10月17日	人生の最終段階に関する「死」の捉え方					テキスト・参考資料	
4	10月24日	「死」に対するこころの理解					テキスト・参考資料	
5	10月31日	高齢者の終末期から危篤のケアについて					テキスト・参考資料	
6	11月7日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
7	11月21日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
8	11月28日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
9	12月5日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
10	12月10日	後期試験					試験問題	
11	12月19日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
12	1月9日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
13	1月16日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
14	1月30日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
15	2月6日	こころとからだのしくみ 総復習					テキスト・参考資料	

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医療的ケア 2		授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・適切に実施できるように、必要な知識と技術を習得する。</li> <li>・喀痰吸引、経管栄養を安全かつ適切に実施できるように学習する。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	最新 介護福祉士養成講座 「医療的ケア」 中央法規 改定 介護職員等による 喀痰吸引・経管栄養研修テキスト					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・出欠席状況、授業態度を総合的に評価する。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)					
教員実務の 経験	介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、医療的ケアの講義を行っていく。					

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア 2			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	喀痰・吸引の振り返りと留意点及び実施手順の確認						テキスト
2	4月18日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
3	4月25日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
4	5月9日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
5	5月16日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
6	5月23日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
7	5月30日	喀痰吸引関係評価						テキスト
8	6月6日	経管栄養の振り返りと留意点及び実施手順の確認						テキスト
9	6月20日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
10	7月18日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
11	7月25日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
12	8月1日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
13	8月8日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
14	8月22日	前期試験						試験問題
15	8月29日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医療的ケア演習		授業形態	演習	担当教員	室津 瞳
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・適切に実施できるように、必要な知識と技術を習得する。</li> <li>・喀痰吸引、経管栄養を安全かつ適切に実施できるように演習を行う。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①実施の根拠が理解できる</li> <li>②必要物品の準備ができることを前提に安全・確実に行えるように知識・技術を身に付けることができる。</li> <li>③利用者の生活に必要な支援であることを理解できる。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新 介護福祉士養成講座 「医療的ケア」 中央法規 改定 介護職員等による 喀痰吸引・経管栄養研修テキスト</p>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験</li> <li>・ 出欠席状況、授業態度を総合的に評価する。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 8 0 点以上の評価点に『A』, 7 0 ~ 7 9 点の評価点に『B』, 6 0 ~ 6 9 点の評価点に『C』 5 9 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、正看護師として政策医療に携わった経験を持つ。 また、自身がケアラーとしての経験を踏まえてケアラー支援のNPO法人を運営している立場を持つ。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア演習			授業形態	演習	担当教員	室津 瞳
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	吸引前の準備 ①ベッドメイキング ②必要物品の準備 *吸引準備は毎回各グループで行う						テキスト
2	4月18日	口腔内吸引①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
3	4月25日	口腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
4	5月9日	口腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
5	5月16日	鼻腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
6	5月23日	鼻腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
7	5月30日	鼻腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習"						テキスト
8	6月6日	気管内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
9	6月20日	気管内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
10	7月18日	気管内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
11	7月25日	経管栄養について ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
12	8月1日	経管栄養について ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
13	8月8日	実技試験						テキスト
14	8月22日	経管栄養について ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
15	8月29日	各個人でテキストを見ないで喀痰吸引の練習						評価表

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	国家試験特別講義 1		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験の過去問題を学習し、基礎知識を広げ、各領域の知識習得を目指す。</li> <li>・ 国家試験問題を繰り返し学習することにより、介護の基礎知識を身につける。</li> <li>・ 国家試験を意識する。</li> </ul>						
到達目標	<p>基礎知識を習得することによって、根拠を持った介護が出来るようにする。 国家資格のプロとして、より多くの知識を持つことが出来る。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>各種国家試験過去問題 介護福祉士国家試験問題集 等</p>						
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、対象者対応や介護の知識を身に付けてきた。</p>						



# 2023 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		国家試験特別講義 1			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月10日	オリエンテーション・人間と社会の領域 1					国家試験過去問題	
2	4月17日	介護の領域 1					国家試験過去問題	
3	4月24日	こころとからだのしくみの領域 1					国家試験過去問題	
4	5月1日	人間と社会の領域 2					国家試験過去問題	
5	5月8日	介護の領域 2					国家試験過去問題	
6	5月15日	こころとからだのしくみの領域 2					国家試験過去問題	
7	5月22日	人間と社会の領域 3					国家試験過去問題	
8	5月29日	介護の領域 3					国家試験過去問題	
9	6月5日	こころとからだのしくみの領域 3					国家試験過去問題	
10	7月24日	医療的ケア・総合問題 1					国家試験過去問題	
11	7月31日	医療的ケア・総合問題 2					国家試験過去問題	
12	8月7日	医療的ケア・総合問題 3					国家試験過去問題	
13	8月21日	前期定期試験					国家試験過去問題	
14	8月28日	国家試験対策 1					国家試験過去問題	
15		国家試験対策 2						

# 2023 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	国家試験特別講義 2		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>国家試験問題を繰り返し学習することにより、介護の基礎知識を身につける。          国家試験を意識し、問題演習を行っていく。          過去の試験問題を学習し、基礎知識を広げ、各領域の知識習得を目指す。</p>					
到達目標	<p>基礎知識を習得することによって、根拠を持った介護が出来るようになる。          国家資格のプロとして、より多くの知識を持つことが出来る。          知識の向上により、現場で活かせるスキルを身に付ける。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>各種国家試験過去問題          介護福祉士国家試験問題</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上)          出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。          80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』          59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、施設利用者への知識向上のための知識や技術を身に付けてきた。</p>					

# 2023 年度 介護福祉学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		国家試験特別講義 2			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月2日	オリエンテーション・国家試験対策問題（人間と社会の領域1）					問題演習プリント	
2	10月16日	国家試験対策問題（介護の領域1）					問題演習プリント	
3	10月23日	国家試験対策問題（こころとからだにしくみの領域1）					問題演習プリント	
4	10月30日	国家試験対策問題（人間と社会の領域2）					問題演習プリント	
5	11月6日	国家試験対策問題（介護の領域2）					問題演習プリント	
6	11月13日	国家試験対策問題（こころとからだにしくみの領域2）					問題演習プリント	
7	11月20日	国家試験対策問題（人間と社会の領域3）					問題演習プリント	
8	11月27日	国家試験対策問題（介護の領域3）					問題演習プリント	
9	12月4日	国家試験対策問題（こころとからだにしくみの領域3）					問題演習プリント	
10	12月11日	国家試験対策問題（総合問題1）					問題演習プリント	
11	12月18日	国家試験対策問題（総合問題2）					問題演習プリント	
12	12月25日	国家試験対策問題（人間と社会の領域4）					問題演習プリント	
13	1月15日	国家試験対策問題（介護の領域4）					問題演習プリント	
14	1月29日	国家試験対策問題（こころとからだにしくみの領域4）					問題演習プリント	
15	2月5日	後期定期試験						